

第7号

2014年
9月26日



Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

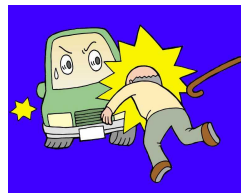
《平成26年8月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	4,243	44	5,521
前年	5,139	53	6,785
増減	-896	-9	-1,264

〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう

	件数	死者	傷者
本年	1,063	30	687
前年	1,263	20	842
増減	-200	+10	-155



交通事故は全体的に減少していますが、高齢者の死者は大幅に増加しています。

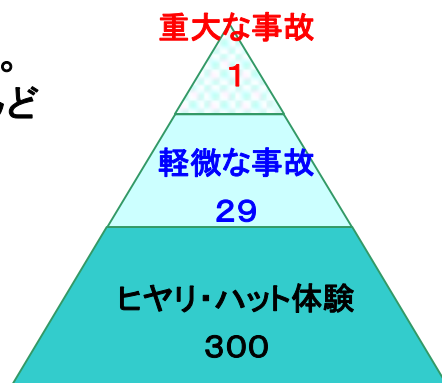


ドキッとしたら・・・要注意！

みなさんは運転している時にドキッとした経験はありませんか。
今までに交通事故を起こしたことがないという人でも、ほとんどの人はヒヤリとした経験があるものです。

ハインリッヒの法則は、労働災害における経験則の1つで、1件の重大な事故の背景には、29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するというものです。

重大事故を防ぐために軽微な事故を防ぎ、軽微な事故を防ぐために、ヒヤリとするような体験をしたときは、なぜそうなったのが原因をよく考えましょう。



ハインリッヒの法則

その後、どんな行動をするか・・・が重要なポイント



この前、暗いところから人が出てきて危なかったな。
スピードを落として、慎重に安全確認しながら進もう・・・



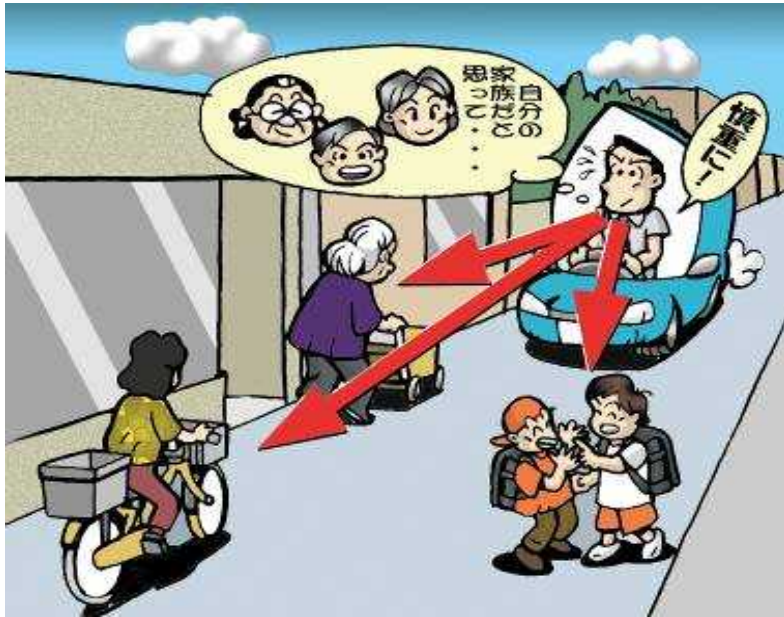
右から歩行者が出てきたけど気を付けていたから止まれた。よかったな・・・

この前、人がいてびっくりしたな。対向車もないので、ライトを上向きにしておこう・・・



あっ、歩行者が歩いている。ライトが上向きだから遠くまで見えるな・・・

ドライバー目線でリスクを回避！



歩行者が、後ろの車に気付いていない場合、突然、前に出てくることがあります。また、子どもは思いがけない行動を取ることがあり注意が必要です。

交差点は事故が起きやすく、確認することが多くあります。

右左折時は、特に注意が必要です。死角の部分に車や歩行者がいないか、よく見て曲がりましょう。

交差点にある横断歩道も、事故が多く発生しています。走ってくる歩行者や自転車がいないか、よく見て確認しましょう。



前の車との車間距離を十分に取らしましょう。

時速60キロで走った場合、1秒間に約17メートル進み、急にブレーキを踏むことは難しく、すぐには止まれません。

「ちょっと十分すぎるかな」と思うくらいの間隔があってちょうどよいくらいだと考えておいて下さい。

前の車をしっかり見ている人でも、その車の前の状況を想像している人は少ないと思います。

前の車は信号が変わって止まるかもしれませんし、歩行者が飛び出してきて急停止するかもしれません。

常に、前車の先を読むようにして運転しましょう。



事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp